

やさしい街

発行・編集
社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
2014年
9月 No.203



老人福祉センター（南）

社会福祉法人札幌市社会福祉協議会
4F 北相模センター・北新倉センター 5F 北ヘルパーセンター・あんしん24北
札幌市北区第2地域包括支援センター TEL 736-4165



地域包括支援センター（北区第2）



介護予防センター（新道南）

今号の主な記事

- 2頁…… 地域の支え合い 福祉除雪事業
- 4頁…… 在宅福祉の現場から 居宅介護支援事業所
- 6頁…… 総合センターからこんにちは
- 7頁…… 札幌ニュース
- 8頁…… 赤い羽根からのお便り
- 10頁…… 「老福・こまおか」 便り
- 11頁…… 情報トピックス
- 12頁…… ご寄附ありがとうございました
地域福祉の玉手箱
さっぽろ地域福祉検定



赤い羽根共同募金の助成金を
受けて発行しています。



毎月3日は
見守り・訪問
の日

【賛助会員の募集】

札幌市社会福祉協議会では賛助会員を募集しています。いただいた会費は、札幌市の地域福祉を推進する貴重な財源となります。地域福祉のサポーターとして、お互いに支え合う街づくりの実現のため、ご協力をお願いいたします。

個人（1口）1,000円 団体（1口）10,000円 問い合わせ先 総務課（11ページ参照）



私たちの社協 ～26年度に札幌市社協が新たに取組む事業をご紹介します～

地域の支えあい 福祉除雪事業



福祉除雪の現状

平成25年度は、一昨年度の大雪の影響で、福祉除雪の利用世帯が544世帯もの急激な伸びとなりました。一方、除雪を担う地域協力員数は、ほぼ横ばいの状態となったため、地域協力員の皆さんには、これまでより多くの世帯を担当していただき、なんとか対応したという区もありました。

更なる高齢化の進展や一人暮らし世帯の増加も相まって、今後も福祉除雪利用世帯の増加が見込まれることから、福祉除雪の地域協力員の確保が福祉除雪事業の大きな課題となっています。

○福祉除雪利用件数の推移

	新規申込数	継続申込数	申込合計数	前年度 申込数比較	実利用数	前年度 利用数比較
平成23年度	904件 20.3%	3,551件 79.7%	4,455件	+98件	4,284件	+127件
平成24年度	908件 19.9%	3,655件 80.1%	4,563件	+108件	4,336件	+52件
平成25年度	1,481件 28.8%	3,662件 71.2%	5,143件	+580件	4,880件	+544件

○地域協力員数の推移

	地域組織	NPO・施設・ 学校	地域企業	災害防止 協力会	合計	地域組織・ 学校等の担当 件数・割合	地域企業・ 防災協の担当 件数・割合
平成23年度	1,653人 84地区	267人 20団体	476人 71団体	529人 77団体	2,925人 252団体	2,689件 61.9%	1,652件 38.1%
平成24年度	1,661人 83地区	298人 27団体	463人 72団体	520人 75団体	2,942人 257団体	2,786件 63.4%	1,607件 36.6%
平成25年度	1,686人 86地区	337人 26団体	410人 69団体	467人 65団体	2,900人 246団体	3,020件 61.0%	1,932件 39.0%

※担当件数は重複世帯数を含む

ホームック 福祉サポートショップ

はあ〜とふるの森

見て 触れて 試して

店頭では是非ご体感ください!!

介護保険による 福祉用具の販売・レンタル、住宅改修
障がい者手帳による 日常生活用具給付(事業)


車いす


ポータブルトイレ


介護ベッド


手すり

営業時間 朝9:00～夜9:00 **定休日** 年中無休 (元日を除く)

- 札幌地区
- スーパーデポ西岡店
- スーパーデポ厚別東店
- スーパーデポ発寒追分通店

- 旭川地区
- スーパーデポ宮前店
- 函館地区
- スーパーデポ石川店
- 帯広地区
- スーパーデポ音更店


Homac
 ホーマック
 DCM HLDGS

区社協・事業所等連絡先(中央区) ○中央区社協 281-6113 ○中央ヘルパーセンター・あんしん 24 中央 272-8480
 ○総合支援センターえがお 231-3294 ○訪問看護ステーションあんしん 208-3511 ○中央相談センター 272-3294
 ○中央区第1地域包括支援センター 209-2939 ○介護予防センター大通公園 271-1294
 ○中央調査センター 280-7801 ○ナイトケアセンター 208-3800 ○中央老人福祉センター 614-1001

福祉除雪 地域協力員を募集しています

自力で除雪が困難な高齢の方や障がいのある方などを対象に、道路に面した出入口部分（間口）と玄関先までの通路部分（敷地内）の雪を除雪する「福祉除雪」を実施しています。

12月からの「福祉除雪」の実施に向けて、除雪活動にご協力いただける「地域協力員」を募集しています。

活動内容

- ①除雪範囲 間口（道路への出入口部分）を概ね幅1.5m、敷地内（玄関先までの通路部分）を歩行に支障のない80cm程度の除雪をしていただきます。
- ②除雪日時 道路除雪が行われた日（新雪除雪のため、札幌市の除雪車が入った日）の12時頃までに除雪を実施していただきます。
- ③除雪期間 平成26年12月1日（月）～平成27年3月25日（水）

申込方法

上記の活動内容で、除雪が可能な方は、性別・年齢は問いませんので、**10月6日（月）**までに下記へお申込みください。後日、各区の社会福祉協議会から担当していただく世帯等についてご連絡させていただきます。

※ 個人、ボランティア団体、NPO、福祉施設、学校、企業、どなたでもご参加いただけます。

※ 一つの世帯をお仲間など複数の方で除雪をいただくことも可能です。

※ 利用世帯の申込み状況によっては、活動をお願いする世帯の調整がつかない場合もありますので、予めご了承ください。

活動費

1シーズンを通じて、ご協力いただいた方には、シーズン終了後、担当世帯1世帯につき、21,000円の協力員活動費をお支払いします。



清田区北野台中学校の生徒の福祉除雪活動の様子

単発除雪ボランティアの募集

1シーズンを通じた福祉除雪に協力することは難しくても、社会貢献活動として除雪ボランティアに協力したいという意向をお持ちの企業・団体・学校には、単発除雪ボランティアの活動を紹介しています。個人の方であれば、除雪ボランティアグループ「札幌スノーバスターズ」のメンバーと一緒に活動いただくことも可能です。単発除雪ボランティア活動に興味のある方も、下記までご連絡をいただきますようお願いいたします。

活動内容

雪の堆積場所の確保・敷地内への雪の移動・軒下や窓まわりの除雪

※ 屋根の雪下ろしなど危険な作業は行いません。

※ 担当していただく世帯は本会で調整を行います。

活動実施日

平成27年1月中旬～平成27年2月下旬

※ 土日祝日など希望に合わせて活動日の調整を行います。

その他

- ・無報酬のボランティア活動となります。
- ・スコップなどの除雪用具や長靴や防寒具などは各自でご用意ください。
- ・除雪ボランティア活動中の事故を補償するボランティア活動保険に加入します。



札幌地区連合様の単発除雪ボランティア活動の様子



樺東北海道支社様の単発除雪ボランティア活動の様子

【福祉除雪・単発除雪ボランティアの申込み・問い合わせ先】

札幌市社会福祉協議会 地域福祉課 地域福祉係 電話：614-3344 FAX：614-1109

区社協・事業所等連絡先（北区）○北区社協 757-2482

○北ヘルパーセンター・あんしん24北 726-7810 ○北相談センター 717-3294 ○北区第1地域包括支援センター 700-2939

○北区第2地域包括支援センター 736-4165 ○北区第3地域包括支援センター 214-1422

○介護予防センター新道南 707-4129 ○北調査センター 708-5512 ○屯田西老人デイサービスセンター 773-4171



在宅福祉の現場から ~事例をととして在宅福祉の今をお伝えします

このコーナーでは、私たちがお手伝いをさせていただく事例をご紹介しますことで、在宅福祉サービスを身近に感じていただき、市民のみなさんに安心してサービスを利用していただくことを目指します。

今回は「居宅介護支援事業所」の事例をご紹介します。

札幌市社会福祉協議会では、要介護度が中重度の方を中心に市内全域を担当する「総合支援センターえがお」と各区を担当エリアとする8か所の「相談センター」(白石・厚別・清田相談センターのみ3区で1センターを設置)の計9か所の居宅介護支援事業所を設置しています。

医療・保健・福祉サービスの分野で実務経験を積み、介護保険の頼れる専門家である介護支援専門員(ケアマネジャー)が、迅速できめ細やかな対応で、最適なケアプラン(居宅サービス計画書)を作成し、自立した生活に向けて支援しています。



上記は、ケアマネジャーと利用者が談笑しているイメージ写真で、事例とは関係ありません。

事例 1

60代 女性 要介護1の方

ひとり暮らしで、高血圧や狭心症等の既往症があるほか、内科的に痛みが常時あって麻酔科に定期通院されておられました。このように色々な病気を抱えながら頑張って生活していましたが、足を捻挫したことがきっかけとなり、室内の整理整頓やごみ出し等の家事が徐々に困難となっていき、手の届く範囲の中で生活するようになりました。ベッドでも就寝ができず、居間で過ごしながら2年が経過していたようです。周囲の勧めもあり介護保険の申請を行い、結果判明後にケアマネジャーとの関わりが始まりました。

自宅内は、2年間排出が困難になっていた多量のプラスチック類のゴミが綺麗にまとめられてあり、部屋の中に高く積まれている状態となっていました。生ごみは出さないような食事を心がけて過ごしていたとのことでした。ご本人はとても几帳面な性格で、身体状況としてごみの排出は出来ませんでした。ご自分で出来ることとしてきちんとごみを分別したり、悪臭等が出ないような工夫をされて生活していたということでした。

ケアマネジャーが、ご本人と今後の生活について話し合いを進めながら、ベッドでもう一度就寝出来るようにすることや台所で調理を行えるようにすること等を目標に、訪問介護を導入して、本人のできる部分をヘルパーと一緒にしながら、自宅内を徐々に整理していきました。

そうすると、数か月後には自宅内の整理も進み、それに伴ってご本人の気持ちも前向きで明るくなり、主治医等からも明るくなったねと褒められるようになっていきました。ご本人もそのことでより気持ちも前向きになっていきました。

トーアレガートパレス

サービス付き高齢者向け住宅

- 平成26年3月 北区北31条西4丁目にオープン
- 地下鉄南北線「北34条駅」から徒歩3分(交通至便)
- 24時間職員常駐の安心・安全・快適な住まい
- 月額利用料金 一般居室(1R)143,300円
介護居室(1R)188,300円
(家賃、共益費、生活相談等サービス費、食費込)

入居相談会開催

日時 9月20日(土)21日(日)27日(土)28日(日)
各日とも①10:00~②14:00~

場所 トーアレガートパレス
(北区北31条西4丁目3番18)
※南北線「北34条駅」5番出口後方1分

申込先 ☎0120-163-063
※入居相談・見学随時受付中

入居者
募集中



資料請求・お問い合わせ先：(株)トーアいこの社 入居相談室(札幌市北区北31条西4丁目3番18) ☎0120-163-063

区社協・事業所等連絡先(東区) ○東区社協 741-6440 ○東ヘルパーセンター・あんしん24 東 753-4270
○東相談センター 751-3294 ○東区第1地域包括支援センター 711-4165
○東区第3地域包括支援センター 722-4165 ○介護予防センター北栄 751-1294
○東調査センター 733-1376 ○東老人福祉センター 741-1000

ケアマネジャーはケアプランの作成のほか、介護保険を利用するために必要な要介護認定の申請や区分変更時の申請においては、ご本人やご家族の希望に応じて、ケアマネジャーが区役所への申請手続きを代行することができます。

また、お身体の調子や家族状況の変化等により、利用中のサービスに変更が必要になった際は、随時ケアプランを変更し、サービス事業者との調整を行います。

このように、介護保険の申請、介護に関するご相談等ケアマネジャーをご利用希望の方は、お気軽にお問い合わせください(各ページ下段の相談センター参照)。



上記は、ケアマネジャーと利用者が面談しているイメージ写真で、事例とは関係ありません。

事例2

80代 女性 要介護2の方

慢性腎不全にて週3回通院し透析治療、その他めまい症とリウマチの既往があり、娘様家族と同居されていました。透析治療開始時、ご本人はひとりで通院し治療していましたが、ある日の透析時にロッカーで着替えているとめまいが起り、ロッカー室内で転倒してしまいました。その後転倒による怪我等もあって、ひとりでは通院困難となりました。それをきっかけに病院からの勧めもあって、介護保険のサービス利用を希望され、ケアマネジャーとの関わりが始まりました。

当初は透析通院のための訪問介護(通院乗降等介助)のみの利用でしたが、ご本人はリハビリにもとても前向きで、天気の良い時には屋外に散歩に出かけたいということで、歩行支援車(福祉用具貸与)の利用も始まりました。

その後、疾病の治療等で入院したことにより歩行状態が不安定となり、退院にあたり転倒の危険も高まったことから、外出時の車いす(福祉用具貸与)も追加しました。転倒しないように注意しておられましたが、自宅内で転倒、骨折し入院されてしまいます。入院中にリハビリも積極的に行い、退院後も家族と散歩をするなどして過ごされて、訪問リハビリを導入することになりました。それにあわせて住環境についても再評価することとし、自宅内の必要箇所へ手すりを設置(住宅改修)する等、生活環境も整えることができました。

訪問リハビリが導入されたことで、ご本人もますますリハビリに意欲をもたれ、訪問リハビリが無い日でもご自分で決められた運動を続けました。そして、リハビリの目標を「故郷へ家族と行くこと」として、ご本人、ご家族を中心に関係者も全員で目標達成に向けて力を合わせていくことを確認しました。その後は目標達成に向けてご本人も努力され、周囲からの励ましもあり、まずは近所に買い物へ行くこと、町内を一周すること等の目標を徐々に達成できるようになりました。

その結果、目標を立ててから数か月後には実際にご家族と故郷まで行くことができました。その時には数十年ぶりに親戚にも会うことができ、昔話に花が咲いてとても楽しい時間を過ごすことができましたということです。その後は故郷へ行けたことがきっかけになり、生活全般に自信も戻ってきて、現在も色々な病氣と向き合いながらも積極的にリハビリに励み生活をされておられます。

敬老園札幌 

**24時間看護・介護体制で
みなさまの健康と生活を
サポートいたします。**

ご見学・お問合せは、入居相談室までお気軽にどうぞ

 宗教法人 阿弥陀寺 介護付有料老人ホーム **敬老園札幌**

〒063-0040札幌市西区西野十条6丁目2-20 ☎ **0120-563-052**
TEL 011-661-8720 FAX 011-661-3220 <http://www.keirouen-sapporo.jp>

合同会社 窟王 

合同会社 窟王 です。
出来たばかりの会社で、主に

- ・障がいある方へのヘルパー派遣
- ・ヘルパーの研修を行っています。



合同会社 窟王
ふるさぼステーション小結 事業所番号 (0110504867)
〒062-0055 札幌市豊平区月寒東5条11丁目4-34
電話・fax 011-555-8834



総合センターからこんにちは ～大通西19丁目から福祉を応援～

社会福祉総合センターは福祉活動の提供を目的とした施設です。



今回は、社会福祉総合センター 4階にある福祉用具展示ホールを紹介します。

福祉用具展示ホールでは、だれもが地域で安心して暮らせるように福祉用具や介護用品など多数展示しています。使用方法や選定方法についてはアドバイザーにお尋ねください。また、展示品を、実際に試してみることもできます。

研修の一環として、または自主的に学ぶ場として、展示ホールを見学してみたいかがでしょうか。どうぞお気軽におこしください。

※団体での見学は事前の予約・お申し込みが必要となります。なお、当ホールでは販売はしておりませんので、福祉用具の購入やレンタルを希望される場合は、協力企業をご紹介します。



いわい 岩井アドバイザー



しんどう 新藤アドバイザー

11月18日(火) 福祉用具講演会・展示会を開催いたします

岡田しげひこ先生による講演会、「札幌市社会福祉協議会福祉用具関連企業連絡会」による特別展示を行います。詳細は9月上旬にHPでお知らせいたします。入場無料です。お申込みの上、ぜひお越しください。

「ルーペ付きつめきり」福祉用具ご紹介

熟練の職人が一つ一つ入念に刃付けを行い精密に仕上げた本格つめきりに手元が見やすく便利なルーペが付いています。

足の爪を切る時に、無理な体勢を取らなくても爪が確認しやすく安全です。



レンズの直径は約3.4cm、倍率は約2倍、レンズの角度調整もできます。(税込1,080円)

<福祉用具のリサイクルにご協力ください>

不要になった車いすや介護用ベッドを、入手が困難な方々へ情報の橋渡しをしております。

【会館時間】月～金曜日9:00～17:00 第2土曜日9:00～12:00 【お問い合わせ】TEL 614-3343 FAX 614-1109



こちら情報センター ～福祉の情報収集は情報センターにおまかせ～

情報センターには、福祉関係図書・資料など約22,000の蔵書があります。

大人のための朗読会

【日時】10月8日(水) ①13:30～14:30 ②15:30～16:30

【会場】札幌市社会福祉総合センター 4階 視聴覚兼会議室

【参加費】無料

【定員】それぞれ60名(先着順) 9月から申込受付予定 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

【予定内容】フリーアナウンサー・田中隆子さんによる文芸作品の朗読。

「屋根の上のサワン」井伏 鱒二 ほか

【お申込み・お問い合わせ先】情報センター資料室

TEL 614-2001 FAX 615-2666

※FAXでお申込みをされる方は申込確認のご連絡をする場合がありますので電話番号またはFAX番号を必ずご記入ください。



情報センターおすすめ図書

「60歳を超えたらおかずは肉！」

白澤 卓二 || 医学監修 セブン&アイ出版

シニア世代になると、魚や野菜を好み肉を敬遠するという傾向を持つ方が多いようですが、肉にこそ、シニア世代に必要な栄養が、たっぷり含まれているのです。

この本では、肉の栄養素を解説し、「かみやすい」「飲み込みやすい」「さっぱり味」など、食べやすいメニューと、そのレシピを紹介します。





札ボラニュース ~ボランティア担当からホットな情報をお届けします~

花のボランティアグループ HANAクラブのご紹介



「今日はどんなふうに住けますか」と楽しく活動されています

札幌市内の高齢者施設では、手先を使うことから書道や絵画といった「お稽古事」で多くのボランティアさんが活動されています。今回はその中から中央区にある円山溪仁会デイサービスセンターで「生け花」の指導をされているボランティアグループHANA（はな）クラブの皆さんを紹介いたします。取材にお邪魔した日は、代表の川筋芙美子（かわすじふみこ）さんとお仲間の佐々木絹子（ささきぬこ）さんが、お年寄りの指導をされていました。夏らしいヒマワリなどの花材を題材にお年寄りと一緒に生け花をされ、ひと休みをしたところで代表の川筋さんから活動のきっかけや思いについてお話を伺いました。



仕上げまで丁寧に助言されます

花にかかわる仕事を40年以上続けてきた川筋さんは、何か花の活動で社会貢献活動をしたいとグループを立ち上げられ10年以上になるそうです。川筋さんは「毎日、花を生けることは生きがいにつながり、植物からパワーをもらえるので、生け花やフラワーアレンジメントを多くの施設で取り入れてほしいですね」とお話をされています。HANAクラブでは一緒にボランティア活動をする会員を募集しております。初心者の方でも受け入れておりますので関心のある方は札幌市ボランティア活動センターへお問い合わせください。

HANAクラブについて

練習会場 札幌市中央区北1条西9丁目 リンケージプラザ1階 ボランティア活動室
 練習日時 ボランティア活動センターへお問い合わせください
 活動経費 花材によって推移するので要相談
 問い合わせ 札幌市ボランティア活動センター TEL223-6005

ボランティア活動センターおすすめ研修のご案内

第2回 視覚障がい研修	第2回 知的障がい研修
日時/9月25日(木) 18:30~20:30 内容/「視覚障がいの基礎知識とボランティア活動に役立つ手引きの技法」 講師/公益社団法人 札幌市視覚障害者福祉協会 訓練職員 小宮 康生 氏 料金/500円 定員/30名	日時/9月30日(火) 13:30~15:30 内容/「知的障がいの基礎知識とボランティア活動に役立つ当事者との接し方など」 講師/社会福祉法人 草の実会 草の実平岸の里チーフ 松本 映理 氏 料金/500円 定員/30名
第3回 車いす研修	第2回 癒し系ボランティア研修(動物)
日時/10月7日(火) 10:00~12:00 内容/「ボランティア活動に役立つ車いすの基本知識と操作方法」 講師/特定非営利活動法人 手と手 常務理事 浅野目 祥子 氏 料金/500円 定員/30名	日時/10月23日(木) 13:30~15:30 内容/「ボランティア活動に役立つアニマルセラピーの効果」 講師/特定非営利活動法人 北海道ボランティアドッグのみなさん 料金/500円 定員/30名

※ いずれの研修も、会場はリンケージプラザ（中央区北1条西9丁目）2階研修室です。



赤い羽根からのお願い ~じぶんのまちを良くするしくみ「赤い羽根共同募金」~

10月1日から赤い羽根共同募金運動がはじまります

赤い羽根共同募金は、一人ひとりのやさしさを、支えあいとぬくもりのある町づくりを推進する市民に届ける福祉活動です。

運動期間 10月1日(水)~12月31日(水)



~わたしたちの募金の使い道~



わたしたちの募金は、地域で行われる福祉活動や障がいのある方の支援活動など、市民が主役の福祉活動に使われています。



地域で行われる福祉活動のPR (地域広報の発行)



隣近所の支え合い活動 (見守り・訪問活動)



地域の交流促進 (福祉まつりの開催など)

この他にも、各種福祉団体や老人クラブの活動支援、障がい者を支える活動など、身近な地域の福祉に役立てられています。

クリエイターのみなさんも赤い羽根共同募金を応援しています 「支え合うココロ、未来へ。」プロジェクト実施

このプロジェクトは、多くのみなさんに「赤い羽根共同募金」に関心を持っていただくこと、特に、若い世代のみなさんに参加をしていただき、住民同士の支え合い活動を盛り上げ、安心して暮らすことのできる地域を目指すことを目的として実施しています。

【主催】

- ・北海道共同募金会
- ・札幌市共同募金委員会
- ・クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

今年はピンバッジが登場



「支え合うココロ、未来へ。」P J イラストパネル展 開催決定!

日時 10月23日(木)~24日(金) 10:00~20:00 (23日は12:00から)

場所 札幌駅前通地下歩行空間 北大通交差点広場(西)

募金のお礼に、オリジナルクリアファイル、組立式募金箱、左のピンバッジなど用意しています。また、クリエイターのみなさんの、初音ミクと赤い羽根のコラボイラストも展示いたします。みなさんぜひ足を運んでくださいね!!

illustration by U35 © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

区社協・事業所等連絡先(清田区) ○清田区社協 889-2491 ○白石・厚別・清田ヘルパーセンター 896-9610 ○清田老人福祉センター 885-8500 ○白石・厚別・清田相談センター 801-3294 ○白石・厚別・清田調査センター 801-3623

平成26年度 寄附金つき共同募金バッジのご紹介 (売上の一部が寄附となります)

《北海道限定》

シマエナガバッジ 500円

北海道に生息する動物をあしらったかわいらしいバッジです。

今年はシマエナガ。みなさんご存知ですか？



《札幌市限定》

まもりんバッジ 500円

昨年に続き、今年も見守り・訪問イメージキャラクター「まもりん」のバッジが登場。大好評です。



北区限定



清田区限定

《区限定バッジもあります》

北区・清田区限定「まもりん」バッジ 各500円

北区は新川桜並木、清田区は「きよっち」とともに登場。

両区民の皆様には必見ですね

札幌市共同募金委員会事務局、北区社協、清田区社協で取り扱っています。

平成26年度 札幌市共同募金委員会会長表彰

平成26年7月3日第37回札幌市社会福祉大会において、赤い羽根共同募金運動に尽力された奉仕者、地区分会、団体・法人及び学校を表彰いたしました。長年のご協力に心より感謝申し上げます。

奉仕者の分野

佐藤 功悦 様

優秀地区・優秀の分野

- 中) 中央地区分会 様
- 中) 桑園地区分会 様
- 中) 西創成地区分会 様
- 北) 新川地区分会 様
- 北) 鉄西地区分会 様
- 東) 丘珠地区分会 様
- 東) 苗穂東地区分会 様
- 東) 栄東地区分会 様
- 白) 白石東地区分会 様
- 豊) 東月寒地区分会 様
- 豊) 福住地区分会 様
- 豊) 月寒地区分会 様
- 西) 発寒地区分会 様
- 手) 新発寒地区分会 様

優秀団体・法人の分野

- 札幌認知症の人と家族の会 様
- 白石区北白石地区民生委員児童委員協議会 様
- 札幌市白石区保護司会東白石分区 様
- 白石福寿会 様
- 白石区青少年育成委員会連絡協議会 様
- 札幌市白石区ボランティア連絡会 様
- 清田区平岡地区民生委員児童委員協議会 様
- 西区おもちゃ図書館ボランティアグループたんぽぽの会 様
- 澄川第4町内会太陽子ども会 様
- 澄川オレンジ子ども会 様

優秀地区継続の分野

期待額25年継続

西) 発寒北地区分会 様

優秀学校の分野

- 札幌市立南白石小学校 様
- 札幌市立大谷地東小学校 様
- 札幌市立宮の森中学校生徒会 様

終活の相談いつでも承ります。



全道36斎場

札幌市内全区・江別・恵庭(オアシス)・石狩(オアシス)・北広島・小樽・深川・滝川(オアシス)・旭川・士別・名寄

お気軽に
お電話ください

ろっぴゃく さんびゃく
0120-600-300





「老福・こまおか」 便り ～新社協の福祉施設関連事業をご紹介します～

今回の老福・こまおかだよりは、養護老人ホーム「札幌市長生園」を紹介します。

札幌市長生園とは？

札幌市社会福祉協議会にて運営する施設の中で、唯一の入所施設となっており、入所定員は50名、全室個室でプライバシーが保たれております。また、所在地を中央区に置き老人福祉センターも併設されている立地条件の良さに加え、栄養のバランスを考慮した献立で季節感に富んだ朝昼夕のお食事や季節ごとに行われる様々な行事、カラオケ・詩吟等のクラブ活動も好評で入園者の楽しみの一つとなっております。

園内には医務室も設置されており、常勤の看護師による入園者の健康管理を行っているほか、週に1回嘱託医による診察もあります。



「札幌市長生園」の外観



夏祭りの様子



健康体操の様子

どうすれば入園できるの？

1 入園の条件

- ① 原則として65歳以上の方
- ② ご家庭での生活に何らかの不安がある方
- ③ 経済的にお困りの方
(目安として年間収入が150万円未満～無収入の方)
- ④ お身体の状態が、食事・入浴・洗濯等、自身のことが自分でできる方

2 入園の手続方法

- ① お住まいの区の区役所保健福祉課へ相談・申請
- ↓
- ② 入園判定会議で「可」と判断されれば、区役所から長生園へ連絡が入ります。
- ↓
- ③ 長生園に空室が出た際に、待機者表の順番で入園できます。



長生園の居室の様子

介護付有料老人ホーム

楽居館 **ご入居申し込み受付中!!**

らくきょかん
指定特定施設入所者生活介護

- 快適な個室(全室)。安心の24時間介護
- 地下鉄「麻生」駅1番出口から徒歩1分

本館 47室 新館 46室
全93室!!

月額利用料 14.3万円～16.8万円

お客様専用フリーダイヤル **0120-834965**

やさしくろうご | 見学・体験入居 | 随時受付

ホームページ <http://www.rakukyokan.jp> Eメール info@rakukyokan.jp
〒001-0045 札幌市北区麻生町6丁目13番4 TEL 011-756-0712 FAX 011-747-8783

税理士法人

札幌中央会計

公認会計士 税理士	川崎毅一郎	税理士	梅津 太
公認会計士 税理士	水野 克也	税理士	松尾もえ子
公認会計士	桶谷 洋幸	税理士	佐々木一男
税理士	竹谷 展由	税理士	片岡 雅彦

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目2番地2
札幌センタービル24階

TEL(011)231-6118/FAX(011)231-6540



情報トピックス ～札幌市社協からのお知らせ～

①福祉除雪事業のご案内

高齢者や障がいのある方が、通院や買い物などの外出時に支障となる、道路に面した出入口部分（間口）と玄関までの通路部分（敷地内）の雪を地域の協力員（ご近所の方々や企業・団体など）が除雪する福祉除雪事業を今年度も実施します。

- 除雪内容 道路除雪が行われた日の12時頃までに間口部分を概ね幅1.5m、敷地内は玄関先まで幅80cm程度を除雪
- 実施期間 平成26年12月1日(月)～平成27年3月25日(水)
- 利用対象者 道路に面している一戸建の住宅に住み、約500m以内に除雪を援助できる子または子の配偶者が居住していない世帯で、自力で除雪することが困難と認められる以下のいずれかの世帯
 - (1) 70歳以上の方（生年月日が昭和20年4月1日以前の方）だけで構成されている世帯
 - (2) 重度（1・2級）の身体障がいのある方だけで構成されている世帯
 - (3) 70歳以上の方と重度の身体障がいのある方だけで構成されている世帯
 - (4) 区社会福祉協議会が特に認める世帯
- 負担金 下記の世帯区分により利用者負担金（一冬あたり）がかかります。
 - (1) 市民税非課税世帯 5,000円 (2) 市民税課税世帯 10,000円 (3) 生活保護世帯 無料
- 利用申込み お住まいの区社会福祉協議会、区役所保健福祉課、まちづくりセンターにて利用申込書を配布していますので、必要事項を記入のうえ、いずれかの場所にお申込みください。
申込期間 平成26年9月1日(月)～10月6日(月)
- お問合せ 市社協地域福祉係（下記参照）または、お住まいの区社会福祉協議会（各ページ下に記載）



②地域支え合い有償ボランティア事業（愛称：ほっ・と支え愛事業）の協力会員説明会のご案内

高齢者や障がいのある方などへの家事援助や、庭の手入れ、外出時の付き添いなどを行う協力会員（有償ボランティアの活動で1時間700円程度の活動費と交通費実費支給）の登録のための説明会を下記のとおり開催します。これまで活動経験のない方でもご登録いただけますので、是非、お気軽にお問合せください。

開催日時	会場	申込み受付日	年会費	定員
平成26年11月 5日(水) 10時～16時	リンケージプラザ3階	9月11日(木)	500円	80名
平成26年12月 2日(火) 10時～16時	リンケージプラザ3階	11月11日(火)	400円	80名
平成27年 2月 9日(月) 10時～16時	未定	1月14日(水)	200円	80名

※年会費は平成27年3月までの分のため、登録月によって金額が異なります。登録者は説明会当日に納入してください。
【お申込み・お問合せ先】ほっ・とプラザ（下記参照）



札幌市社協のお問合せ先

社会福祉法人
札幌市社会福祉協議会
地域福祉本部（法人本部）

〒060-0042
札幌市中央区大通西19丁目1-1
札幌市社会福祉総合センター3階
TEL (011) 614-3345 (代表)
FAX (011) 614-1109

経営財務部
総務課・展示ホール 614-3343
社会福祉総合センター 614-2948
情報センター資料室 614-2001
地域福祉部
地域福祉係 614-3344
札幌市共同募金委員会 614-3532
生活福祉係 614-0169
生活・就労支援センターあつべつ 802-6382

地域福祉部
ボランティア活動係 219-1737
ボランティア研修センター 223-6005
福祉人材研修係 272-4020
ほっ・とプラザ 272-4440
さっぽろ子育てサポートセンター 272-2415
高齢者・障がい者生活あんしん支援センター（権利擁護係） 632-7355

地域包括ケア本部・
介護事業本部

〒060-0001
札幌市中央区北1条西9丁目
リンケージプラザ3階
TEL (011) 272-4020
FAX (011) 272-4010

施設福祉部
施設福祉係 614-1002
（札幌市社会福祉総合センター内）
養護老人ホーム札幌市長生園 614-1171
札幌市保養センターこまおか 583-8553
地域包括部
地域包括係・調査係 209-4021

介護事業部
管理係 272-4020
訪問介護係・支援事業係 209-4020
総合支援センターえがお 231-3294
訪問看護ステーションあんしん 208-3511

ここで、あなたがきらめく。
ここから、世界を照らす。



Hokusei Gakuen University
北星学園大学
北星学園大学短期大学部

大学院	文学研究科／経済学研究科／社会福祉学研究科
文学部	英文学科／心理・応用コミュニケーション学科
経済学部	経済学科／経営情報学科／経済法学科
社会福祉学部	福祉計画学科／福祉臨床学科／福祉心理学科
短期大学部	英文学科／生活創造学科

〒004-8631 札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号
TEL (011) 891-2731 (代表) URL <http://www.hokusei.ac.jp>



情報トピックス ~札幌市社協からのお知らせ~

ご寄附ありがとうございました

- 5月 27日 矢田 美子 様 600円
- 6月 4日 札幌菱友会・三菱業務懇談会 様
札幌ドーム・日本ハムファイターズ戦観戦チケット 154枚
(札幌市内の特別支援学校・札幌市母子寡婦福祉連合会へ払出)
- 6月 9日 株式会社ワールドオートバイサーカス様
ワールドオートバイサーカス招待券 500枚
(札幌市母子寡婦福祉連合会へ払出)
- 6月 11日 大野 雅嘉 様 3,000円
- 7月 8日 老後問題を考える会 様 10,000円
- 7月 15日 中西 歌子 様 10,000円
- 7月 18日 中央区大通地区西18丁目町内会 様 5,000円
(寄付者の意向をもとに札幌市長生園へ入金しています。)
- 7月 19日 中央区大通連合町内会 女性部 様 7,000円
(寄付者の意向をもとに札幌市長生園へ入金しています。)



札幌菱友会・三菱業務懇談会 様

地域福祉の玉手箱 ~市社協が作成した相談先チラシのご紹介~

本会では、「気にする・気にかける活動」を「見守り活動」として具体的にお示しし、その参加をできるだけ多くの方々に呼びかける目的で「見守りのすすめ」を作成しました。本書は、これから見守り活動に協力いただける方にご利用いただけるよう入門的な内容となっています。

本会ホームページでもダウンロードいただける他、本会地域福祉課やお住まいの区社会福祉協議会にて配布しておりますので、お気軽にお申し出ください。



さっぽろ地域福祉検定 ~クイズに答えて景品をゲット!~

「さっぽろ地域福祉検定」は、札幌市社協の地域福祉推進にご協力いただいている企業とともに お送りしていますが、今回は、北海道新聞社様にご協力をいただいております。



北海道新聞社

【景品】

「ぶんちゃんてぬぐい」と
「北海道新聞オリジナルベネトンエコバッグ」
をセットにして20名様



【第9回の問題はこちら!】

Q 道新販売所(道新会札幌八日会)は、高齢者や障がい者の孤立死を防ぐために札幌市と「見守りに関する協定」を締結し、配達員が新聞がたまる等の異常を見つけた時は、区役所等に連絡するといった取り組みに協力しています。

さて、北海道新聞のキャラクター「ぶんちゃん」は頭に何をかぶっているでしょうか。

- A 唐傘 B 新聞 C 帽子

【クイズの応募方法】

①住所 ②氏名 ③電話番号 ④クイズの答えを記入のうえ、下記まではがきかFAXでご応募ください。

平成26年10月10日(金) 必着です。

〒060-0042

札幌市中央区大通西19丁目1-1

札幌市社会福祉協議会 地域福祉課 検定クイズ係

【FAXの場合は(011) 614-1109まで】

応募多数の場合は、抽選のうえ当選者を決定いたします。当選者の発表は、景品の発送もって行います。

〈7月号の答え C(南区でした)〉

【まもりんから一言】

今号の特集記事となっている福祉除雪事業ですが、利用者の平均年齢を調べてみますと82.1歳でした。この平均年齢は5年間で1.5歳ずつ上昇しています。一方、除雪をしてくださる地域協力員さんは、アンケート結果によれば、平均年齢が68.0歳で、利用者と同じく5年間で1.5歳ずつ上昇しております。冬期間、日常生活を支えるくださるとも大切なボランティア活動です。ひとりでも多くのご協力をお願いします。